



新年のご挨拶



群馬県中小企業団体中央会

会長 金子正元

新年明けましておめでとうございます。

我が国経済は、緩やかな回復基調が続いているとされています。

本県においても、自動車産業等で明るい動きが見受けられます。また、本会の昨年末の従業員300人以下の県内中小企業（450社（うち、有効回答245社））を対象とした「年末賞与支給見込み調査」においても、賞与を支給すると回答した企業の割合が、62.4%と昨年を7.5ポイント上回る結果（支給しないとした企業の割合は15.1%と、昨年比4.4ポイントの減少）となっています。

一方、本会会員組合からは、最近の円安傾向により原材料や電気代等のコスト高が進む中で、製品への価格転嫁が思うように進まない、更なるコストダウン要請に苦慮している、といった声も聞かれます。

このような中で、本会では、中小企業・小規模事業者の活性化を図るため、国の緊急経済対策事業を中心とした様々な支援施策に取り組んでおります。昨年は、いわゆる「ものづくり補助金」に加え、中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業いわゆる「新ものづくり補助金」、若手人材の確保定着を目指した「地域中小企業の人材確

保・定着支援事業」、さらには、集客力や販売力向上のための事業展開を支援する「地域商店街活性化事業」等、幅広い分野で支援を展開してまいりました。

本会では、引き続き、関係機関と連携し、県内経済の好循環の実現に向けて、本会役員が一丸となって諸事業に取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、県内の中小企業・小規模事業者にとりまして実り多き一年となりますよう、心より祈念申し上げます。





新年のご挨拶



群馬県知事

大澤 正明

明けましておめでとうございます。

群馬県中小企業団体中央会の皆様におかれましては、希望に満ちた晴れやかな新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録され、富岡製糸場はさらに、県内初の国宝の指定を受け、また、本県の宣伝部長である「ぐんまちゃん」が、県民の皆様への応援を受けて「ゆるキャラ®グランプリ」で見事1位に輝くことができました。長年の懸案であった東毛広域幹線道路も全線開通し、ハツ場ダムの本体工事に見通しが立つなど、^{うつくし}午年にふさわしい、群馬県が大きく飛

躍した1年となりました。

今年は、こうした昨年からの勢いを加速させ、本県がさらに大きくはばたけるよう県政運営に全力で取り組んでまいります。

さて、県内経済は、業績の好調な自動車産業を中心に、回復を基調としながらも、急激な円安による原材料・燃料費の高騰など、先行きの動向には十分注意が必要です。

県としては、県内景気を下支えし、景気回復をより力強いものとするため、各種中小企業支援施策や新産業の創出・育成などに取り組んでまいります。また、「7つの交通軸」を重点的に整備するとともに、北陸新幹線の金沢延伸でさらに高まる本県の拠点性を最大限に生かし、コンベンション施設の整備のほか、全国トップクラスで推移する企業誘致や世界遺産効果が期待される観光誘客など、地域経済の活性化に向けて引き続き力を注いでまいります。

さらに、人口減少という国家的な課題に対応するため、新たに設置した「群馬の未来創生本部」を中心として、交流人口の増加促進や新

たな雇用の創出など、国や市町村、関係機関と連携して総合的に取り組んでまいります。

群馬県が、持続的に成長・発展していくためには、何よりも地域経済を支える中小企業が元気になることが必要です。中央会の皆様には、組合等の支援を通じ、中小企業を支える心強い存在として、その役割を大いに発揮されますよう御期待いたします。

今後も皆様と力を合わせて、「ふるさと群馬」の発展に全力を尽くしてまいりますので、御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。本年が中央会並びに中小企業組合の皆様にとって、更なる飛躍の年となるよう心から祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

平成27年1月1日





年頭に当たって

全国中小企業団体中央会



会長 鶴田 欣也

明けましておめでとうございます。平成27年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年当初は、輸出の持ち直しや消費税引上げ前の駆け込み需要が強まり、大手を中心に企業業績は堅調に推移するなど景気回復が続いたものの、4月の消費税増税後は、GDPが2四半期連続してマイナスとなるなど景気低迷が鮮明となりました。加えて、10円近く円安が進み、原材料や燃料の高騰、人手不足による人件費の値上がり等によるコストの増加によつて、中小企業にとつて企業収益の改善が進まず、景気回復の実感が得られない厳しい年となりました。

こうした中、昨年10月に東京・日比谷公会

堂で開催されました第66回中小企業団体全国大会と代表者の集いには、安倍晋三内閣総理大臣ほか多数の閣僚にご出席頂き、地域や中小企業に景気回復の実感が届くための大会決議を要望することができました。

また、経済の好循環実現に向けた政労使会議では、安倍総理に対して、生産性向上を図る省力化投資の増進や下請代金の引上げ等取引環境を整備して頂くよう要望して参りました。

明けて平成27年は、全国津々浦々の中小企業が景気回復を実感できる経済の好循環を確実に実現していくことを強く期待しています。中小企業自らが持ち前の機動力を発揮して地域の特徴を生かした経営力強化を図るとともに連携・共同化による生産性向上や製品・サービスの高付加価値化、組合機能を活かした職業訓練の実施による地域への人材供給などを更に活発化していくことを強く期待しているところです。

また、昨年成立した小規模企業振興基本法に基づく「小規模企業振興基本計画」に定められた組合等の役割（地域ぐるみで総力を挙げた支援体制を整備するため、「地域の小規模企業が他の事業者との連携・組織化を進める

上で、組合が果たす役割は大きく、中小企業団体中央会・商店街振興組合連合会は、小規模企業の課題に応じた多様な組合活動を支援していくことが求められる。」の具体化を図り、実行していかねばなりません。組合と組合員企業の皆様が、地域経済の活性化に資する事業活動は自分自身の問題であるとの共通の認識を持ち、能動的に行動していく必要があります。

今年は、大部分の中小企業団体中央会が創立60周年を迎えます。多くの先人のご努力によつて培ってきた中央会という知的財産に、女性と若者等の創意工夫による新たな成果を着実に積み上げていきたいと考えています。組合等連携組織が主体となつて地域内再投資が繰り返され、組合関係者の手で地域活性化が実現できるよう団体のトップの方々にも更なるリーダーシップの発揮をお願いいたします。本年が皆様にとつて、明るく、ワクワクするほど楽しい年になりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭に当たつてのご挨拶とさせていただきます。

平成27年元旦

年頭所感

株式会社商工組合中央金庫前橋支店



支店長 松尾 悟志

平成27年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年のわが国経済を振り返りますと、消費税率の引き上げを挟んで、駆け込み需要とその反動減が発生し、景気の振幅が大きくなりました。中小企業の景況感を当金庫の「中小企業月次景況観測」で見ますと、景況判断指数は駆け込み需要のあつた3月にはバブル崩壊後の最高値を更新しました。4月以降はその反動減により大きく低下した後、持ち直しに転じましたが、好転・悪化の境目となる50手前で足踏みが生じました。

具体的には、日本銀行による金融緩和の継続や、政府の経済対策としての公共投資が成

長を下支えしましたが、輸出の伸び悩みや個人消費の持ち直しに遅れが生じ、また一部の業種における消費税率引き上げの反動減の長期化、円安・原材料高に伴う仕入価格の上昇、人手不足による供給制約などもあり、景況感の回復に遅れが生じました。

このような環境のもと、商工中金は、①東日本大震災からの復旧・復興に取り組む中小企業の皆さま、②原材料高・エネルギーコスト高の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さま、に対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組んでまいりました。そして、こうした取り組みを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に貢献できるよう努めてまいりました。

中小企業の皆さまの企業価値向上に関しては、ものづくり補助金の情報提供等、国の設備投資促進のための施策と連携するとともに、環境・エネルギー等の分野を中心に成長マネーを供給してまいりました。

再生支援については、能動的かつ抜本的な再生支援を行う他、業況が改善しているお取引先に対して、金融取引の正常化とその後の

成長支援に取り組んでまいりました。

商工中金としては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、セーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、商工中金の強みであるネットワーク機能、総合的な金融機能を結集し、グループ一体となつて皆様の成長、再生支援等に全力で取り組みます。こうした取り組みを、地域の各機関と連携しつつ、地域の面的なものにつなげ地域経済の活性化に貢献してまいります。

そして、「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまでに以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

